学校だより
No.3
くろしお
令和元年５月２９日発行
日南市立南郷小学校

【１年生を迎える会：５月８日】

６年生が１年生の手を引いて入場しました。全校児童で「貨物列車」のじゃんけんゲームをしました。じゃんけんで負けた方が、後ろに回り、肩に手を置いて連なっていきます。１年生も相手を見付け、じゃんけんし、勝ったり負けたりして楽しく過ごしていました。まだ、学校生活に十分慣れてはいないと思います。きついこと辛いことがあると思いますが、がんばって乗り切ってほしいと思います。

【ゲームの様子】

【避難訓練：５月２４日、保護者引き渡し訓練】

自然災害によって児童だけの下校が困難と判断されたときに保護者に迎えに来ていただく訓練を行いました。昨年度は、国道に渋滞を招き大変ご迷惑をおかけしましたので、その課題の解決を目的の１つとして取り組みました。今回は、運動場も活用し、渋滞を起こさずに引き渡すことができました。スムーズな引き渡しについては、課題がありますが、今後、改善を図っていきたいと思います。ご協力ありがとうございました。

【引き取りの様子】

【参観日：５月２６日、ＰＴＡミニバレー】

北海道では猛暑の日曜日になりましたが、日南市はしのぎやすい天候でした。下学年と上学年で分かれてPTA ミニバレーが行われました。

	［下学年］	［上学年］
優　勝	３年２組	４年２組
準優勝	１年２組	４年１組
３　位	３年１組	５年１組
応援賞	２年１組	６年１組・２組

おめでとうございます。

【上学年の様子】

【令和元年度における教科書展示会】

令和２年度から小学校の教科書が変わります。使用される教科書の見本が展示されます。今年度、教育委員会が教科書の選定作業を行っています。どの業者の教科書が採択されるか分かりませんが、いろいろな業者の教科書が展示されますのでご案内いたします。

１　期間　令和元年６月14日（金）
～
令和元年６月27日（木）
※　月曜日は、休館
２　時間　10時00分～16時30分
※　最終日は、16:00まで
３　場所　日南市生涯学習センター
まなびピア

６月の主な行事

２日(日)	ＰＴＡ奉仕作業
４日(火)	歯科検診（１、５年）
７日(金)	家庭教育学級開級式
11日(火)～	プール開き
11日(火)	歯科検診（２、６年）
13日(木)	学校評議員会
14日(金)	眼科検診
15日(土)	市ＰＴＡミニバレー大会
18日(火)	歯科検診（３、４年）
20日(木)	榎原小学校との交流
27日(木)	参観日（参観授業のみ）
27日(木)	地区懇談会

裏面もご覧ください

歳時記

誠の心

小村　寿太郎

正面玄関に標記の言葉「諸君は正直であれ　正直ということは　何よりも大切である」が掲示してあります。「正直」とは、「いつわりのないこと、正しく素直なこと、かげひなたのないこと」（広辞苑）です。子どもたちの生活の中で「正直」が問われる場面を考えてみます。

①　宿題や課題など家庭学習をしなかった時の理由
②　教科書や体育着、絵の具、筆箱等忘れ物をした時の理由
③　友達とのトラブルにおける事実やその理由
④　悪いことをしたり、きまりを守らなかったりした場合の事実やその理由
⑤　失敗したときの理由
⑥　約束を守らなかった時の理由
⑦　遅れた時の理由
⑧　友だちをかばう時
⑨　いじめられた時
⑩　人に言えない悩みがある場合・・・・・etc

子どもも大人も、自分に都合が悪くなる、恥ずかしい等の思いを抱くと「正直」に行動することが難しくなることがあります。その場をごまかす、その場をしのぐということは、根本の解決には至りません。同じ過ちを犯し、さらに状況を悪化させていきます。周りをごまかすことができても、自分をごまかすことはできません。自分をいつわった記憶は、残りますし、自責の念や後悔の念をもつことになります。自分自身に自信をもつことができません。「正々堂々と生きる」、「胸を張って歩く」等は、自分に自信をもたないとできることではありません。しかし、人は、過ちを犯したり、失敗したりするものです。特に子ども時代は、そんなことがよくあるのではないでしょうか。「正直」すなわち「誠」の心は、そのようなことを起こしても、それをごまかさずに認め、悔い改めることで培われていくのではないでしょうか。そして、同じ過ちや失敗を繰り返さないようになるということではないでしょうか。つまり、最もいけないのは、起きた出来事ではなく、それをごまかす心、偽る心ということです。

では、「正直」な子どもにするためには、どうしたらいいのでしょう。それは、子どもが正直に言ったり、したりしたときにその言動を褒めることです。

【例】

Ａさん：今日は、宿題を忘れて先生に怒られた。ごめんなさい。
母　　：先生に怒られたことをよく正直に話してくれたね。えらい。
　　でも、宿題を忘れたのはいかんかったね。なんで忘れたとね。
Ａさん：宿題は終わっちょったっちゃけど、持っていかんかった。
母　　：準備をちゃんとしちょらんかったちゃね。
Ａさん：うん、今度かい、ちゃんと準備して、確かめるわ。
母　　：がんばれ！

ごめんなさい

もちろん、「親は子の鑑、子は親の鏡」でも述べましたとおり、親が「正直」である必要があります。「嘘も方便」ということもありますが、子どもの前ですることは極力控えることが望ましいでしょう。

「正直」は、信頼される人になるための大切な資質の一つです。故郷の偉人である小村寿太郎先生は、それを何よりも大切にされていたのです。「正直」は、昔も今も不易な理（ことわり）です。南郷小学校の子どもたちに、「正直」な心をさらに育んでいきましょう。